

すずか税のたより

第132号
平成30年11月発行

主催

鈴鹿納税貯蓄組合
連合会(習字・作文)
公益社団法人鈴鹿法人会
(絵はがき)
鈴鹿間税会(標語)
鈴鹿税務署(作文)

平成30年度 応募状況

作文

458編

習字

1,407点

絵はがき

1,015点

標語

2,601点



鈴鹿税務署長賞

小学生の絵はがきコンクール

鈴鹿市立桜島小学校

6年 中西

姫花

小学生の税に関する習字

税金は 未来を築く 道標

鈴鹿税務署長賞

鈴鹿市立創徳中学校 1年 松岡 らん

中学生の税の標語

飯野小六年伊藤 万実
役税割の

鈴鹿市立飯野小学校
6年 伊藤 万実

東海納税貯蓄組合連合会会長賞

明生小六年平子 愛
役税割の

鈴鹿市立明生小学校
6年 平子 愛

鈴鹿税務署長賞

中学生の 税についての作文

三重県教育委員会賞

税の大切さ

亀山市立中部中学校 3年 田岡 桃奈

税金にはどんな種類のものがあるのだろうか、何のために税金はあるのだろうかと思い、調べてみました。すると、国税が二十五種、地方税が二十六種類もありました。私は身近な税の消費税しか知らなかったのでこんなにも税があることにおどろきました。

私たちが納めた税金はいったい何に使われているのでしょうか。それは、社会を支えるために使われています。国民の安全を守ってくれる警察・消防や道路・水道の整備、年金・医療・福祉・教育など私たちが何気なく暮らしている社会は税金のおかげで成り立っているといっても過言ではありません。家族で買い物に出かけ、物を買うときにふと「消費税高いなあ。」と思うことがあります。ですが、消費税が何のために使われているかを考えると損をした気分にはなりません。むしろ、もっと暮らしやすくなると考えると得をしたままではいきませんがいやな気持ちにはならないと思います。

中学生の私に最も関わりの深いものは教育のために使われた税です。毎日通っている学校も税がなければなかったのではないかと思うと、税の大きさがわかります。一人一個の机と椅子とロッカー、授業をするための黒板、学校にあるあらゆるものが税のおかげであります。私の学校は最近、全部の教室ではありませんが多くの教室にエアコンが設置されました。私は吹奏楽部なのでとてもありがたいと思いました。今年は例年に比べて気温がとても高く、この暑い夏にクーラーがなかったら勉強に集中できず、熱中症にでもなっていたのではないかと思います。税金のおかげで快適な学校生活が送れて嬉しいです。教科書の裏を見てみるとこんな言葉が書かれています。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」一年ごとに配られる教科書は何十個もあります。日本の多くの学生全員に教科書が無償で支給されていると思うと税金はとても偉大なものです。これからの未来を担っていくために、この教科書を使ってたくさん勉強し、日本の社会に貢献していかなければならないと思いました。

税の大切さを知った今、もし日本から税がなくなったらどうなるだろうと考えました。税がない社会は安全が絶対に保障されない危険な社会だと思います。そのような危険に溢れている社会に住みたいと思うでしょうか。私は思いません。今、私が安全に暮らしているのは、不便なく暮らせているのは税のおかげです。

二〇一九年には消費税は十パーセントに上がります。物を買うたび高い消費税がついてしまうのはたいですが、この消費税が私たちがのために使われていると思うと良い気分になります。私たちがスムーズな生活をしていくために税は欠かせないものだと思います。

三重県教育委員会賞

前向きな税金

亀山市立亀山中学校 2年 堀 倫綺

「小銭が面倒だ。」「何で納めやなあかんの?」と思いながらレジで払う消費税。百円ショップなら、税金(消費税)を考えなければ、百円玉一枚でスッキリ払えるし、ぼくの財布もジャラジャラしない。今までにどのくらい納めなくてはいけなかつたのだろうか。

では何の為に、誰の為にどれくらい必要なのだろうか。分かっているつもりでも正しい知識がないのが現状の僕だ。言われるがままに、仕方なく払うだけ。でも未来、税金とは言われるがままに納めるものではないはずだ。

僕の知っている税金の使われ方は、公共の場はもちろん、ダムや河川の整備、浄水場といったところだろうか。改めて考えてみると、払いたくないという思いだけが先に立ち、税金の意味をあまり考えたことがない。

『税金無駄』…ポチッ。インターネット検索をした。日本経済新聞の記事による『税金の無駄遣い』という文字が目飛びこんでくる。ぼくたちが納めている税金が無駄遣いされているの?と思いながら読みすすめる。国会議員の給料が大幅に上がっているとのことだ。国会議員が国のために働いてくれる給料なら当然もらってもいいはず。よりよい日本の為に、意欲的に動いてもらう為だから。本来なら批判される記事は書かれるべきではない。ただ大幅というのが気になる。

二〇一六年度決算の検査報告で会計検査院は四三三件、計八七四億円の無駄遣いを指摘したそうだ。その無駄遣いをした分で本当は何ができたのだろうか。個人では頑張る限界を超えている地域(被災地など)への手助けが思い浮かぶ。と同時に、少子化で出生率や待期児童の問題など若い世代ばかり気にされている。高齢の方が少しでも長く自立した生活を続けられるようサポートできるシステムの確立の方が大切だと思う。若い世代は少しムリをしてでも我まんをして、長年今までの日本を支えてくれた人生の先輩への恩返しをしながら、自分たちの未来を納税のはげみにつなげることができればいいと思うからだ。老人ホームの費用が高くてあきらめたり、楽しみを持たずただ長生きをする人を減らすために税金が使われるべきだ。

しかし、無駄遣いの分だけで、この先も進む高齢化を支えられるわけがない。そう考えると、「ああ、やっぱり税金はもっと必要なんだな。」と理解できる。今年一年ではなく、この先ずっと続いていく未来を考えなければならぬのだから。

税金の意味と正統な使い方と考え「少しでも役立つならぜひ」と前向きに納税できるといいと思う。めぐりめぐって、自分が年を重ねた時、日本に生まれてよかった、長生きできて幸せだ、と心から思えることにつながっていくと素敵だと思う。

鈴鹿税務署長賞

税金に助けられている私たち

亀山市立亀山中学校 2年 金木 洸瑠

皆さんは税金とは何か知っていますか。税金は必要ない、自分たちの生活には要らないものなどと思っていませんか。私も税金というものをあまり知りませんでした。税金は何に使われ、どのような働きをしているのか、本当に必要なものなのか沢山の疑問がありました。しかし税金について調べているうちに税金とはとても大切なものだと感じました。普段の生活で「これは税金に関するものだ」と気がついていないだけで普段の生活には税金からなっているものが沢山あり税金に沢山助けられているのです。

私たち小・中学生がどこで税金に助けられているのかというと学校です。私たちの行っている学校は税金があるからこそ生活できていて、税金があるからこそ教育を受けれているのです。学校では勉強をするための机や椅子、黒板などの備品や生活をするための電気や水道、校舎などの多くの費用が必要となります。これらの教育費は国、都道府県、市町村で負担しています。例えば教師の給料は国が三分の一都道府県が二分の二を、教科書は国が全額、器具などは国と市町村で半分ずつといった負担の割合が決められているそうです。そしてこれらの教育費を合計し一年間に生徒一人あたりにどれくらい税金が使われているかということと小学生で約八十四万円、中学生で約九十六万円。公立高校でも約九十万円といった税金が使われています。小学校入学から高校卒業までの十二年間で一人約一千万円ほどの税金が使われていることがわかりました。

そして、私は昔教科書のお金を払っていたと聞き、「でも今は教科書は無償になっているな」と疑問に思ったので調べてみました。明治の「学制」が始まり敗戦後十五年近く経つまで教科書は無償ではなかったのです。それを無償化したのは差別と貧困で苦しめられた被差別部落の人たちの闘いがあったからなのです。そして昭和三十八年十二月「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」が成立し教科書は無償となったのです。

こうしてみると私たちは教育のために国民一人一人の大事な税金を沢山使い支えられながら大人になっていってんだなと思えました。私たちも国民一人一人の税金に助けられながら教育を受けれたので私たちが大人になった時の小・中学校に通っている子供たちも国民一人一人の税金に助けられながら教育が受けれたらいいと思います。初めにも言った通り税金について調べていくうちに教育にも沢山の税金が使われていることが分かり私たちにもすごく大切で必要なものだとということということがわかりました。大人になり社会に出てからでも、税金に助けられることは知らないうちに沢山あると思うので税金なんて必要ないものだ、税金なんて要らない、など思わないで生きていけたらいいと思いました。

鈴鹿税務推進協議会長賞

若者に税の優遇措置を

鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 赤塚 央斉

現在、僕は中学三年生です。日常生活の中で「税金」という言葉を意識することはほとんどありませんでしたが、昨年、父が自宅を改築した時に耳にした「財産の生前贈与」という言葉きっかけにして、税に対する関心が少し芽生えてきました。改築とはいうものの、元の家屋は、鉄骨の骨組みを残しただけで、新築と同様の建築過程を踏み、何か月にも及ぶ大掛かりな工事となりました。

十数年前に、住宅の建築に限って一定額までは贈与税がかからないという税制上の優遇措置が実施されたようです。バブルがはじけて景気が低迷し、景気回復への対応策の目玉として、特例法がとられたのでしょうか。通常の贈与税に比べて、生前贈与という形での贈与税の税率は極めて高く、相続に伴う税率とは比較にならない額のようにです。財産分与に関する一般論としては、世帯主の死に伴って生じる比率が、妻が財産の半分を、子どもたちは残りの半分を均等に分ける、という形で決められているようです。そして、取得額に対する贈与税としての納入額については、規定額以内ならば徴収されない、という税制上の措置がとられているようです。

僕は、この税制上の優遇措置という形での一つの提案をしたいと思います。日本は、少子高齢化社会に突入して、ますます未来の展望が困難になり、若い世代の人々の先には、まったく「希望」という文字が見えません。現在、二十歳の時点で就職していない場合、一律に国民年金の支払い義務が課せられます。現況では、学生の納入率は極めて低いと言われていますが、僕はここに着眼しました。納入義務を果たして、その後、就職した者に対して、税制上の優遇措置を5年間与えるという提案はどうでしょうか。

この案は、利点が被雇用者側にとどまらず、雇用者側にもある、という点が売りです。被雇用者側にとって、課税が低いというのは、細やかな幸福感を呼び起こし、働く意欲に繋がります。そして、5年間という優遇措置によって余裕となる収入を貯蓄に回すならば、未来像を描く上で希望を持つことができるだけでなく、結果として離職率を減らす効果があります。一方、雇用者側の利点として、若者の離職率の減少は、新人の育成に力を注ぐことで、短期間に自社の戦力になり得る人材確保に繋がります、企業の安定と発展を促します。

現在は、若者たちが納める税金で高齢者を支えています。数十年先の自分たちを支える年齢層は薄く、自分たちの社会保障は当てにならない、といった不安が若者の心に大きくのしかかっています。

こうしたマイナスの要素を軽減する手立てとして、長期に渡る税制上の措置の必要性は高く、若者の未来が明るくなれば、価値のある政策として認知され、少子化への歯止めと同時に、高齢者を支える力になると思います。税の価値を高める税の優遇措置の実現を。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

伝えていく事

鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 谷口 千歩

「昔は、消費税なかったんやって。いいなー。」と友達と買物に行った時、彼女はそう言っていました。税金には、いろいろな種類があり、さまざまなサービスに使われています。その内容は、まだあまり詳しくは分かりませんが、消費税は私達子どもでも唯一納めることが出来る税金なので、私は「そうは、思わないで。ないと大変なんやよ。」と、心の中で言っていました。

多くの人々がいろんな場面で、その税金を必要としているのです。税金によって、私や家族が救われたように。

それは、私が中学3年になってすぐの春の事です。その日の朝「ちょっと体調が悪いから、病院に行ってから仕事に行くわ。」と、父が言って家を出ました。その父の言葉以外はいつもどおりの朝でした。しかし、その日父は、私が学校に行っている間に入院していました。学校から帰り、母からその事を聞かされた時、目の前が真っ暗になりました。

父の病気は、10年ほど前は完治することは難しいと言われていたのですが、ちょうど去年新薬が開発されて、「その薬を使用することが出来れば、治っていく。」と病院の先生から説明がありました。それから父は、いろいろな検査を受けました。その結果、新薬が使用出来るとの診断でした。私と母は喜び合いました。しかし、その新薬は高額で、もちろんジュネリックも在存していません。そこで先生は、公的な助成制度である『医療費助成制度』の使用を説明して下さいました。これは、高額な医療費を税金を使って助成してくれる制度です。

お陰様で、現在父は約一ヶ月で退院し、この制度を利用して、治療を受けて、順調に回復に向かっています。

ところで、実は私も未熟児で生まれて、未熟児養育医療制度を使用させていただいたと父に聞かされました。今こうして、自分がいるのも、税金のお陰だと思えます。

今日、いろいろな分野で新しい発見や開発があり「医療分野への応用に期待したいです。」というような言葉を耳にします。このように医療が発達していき、新薬が開発されても、今のような税の助成制度がなければ高額の為治療が受けられず、技術的には治るはずの病気でも亡くなってしまう人が多くいたと思えます。

父や私の医療体験があって、税の使われ方、納税の大切さが、ほんの一部かもしれませんが分かった気がします。税金によって命を救っていただいた私達親子は、税金の必要性や大切さを実体験を通して、伝えていくことが大切だと思えました。

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

税金批判しても…

鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 佐原 弘彬

「夏休み」。その言葉を聞いて、学生独自の喜びや期待と同時に、膨大な量の課題に対する憂鬱感が芽生えるのであった。

私の夏休みの課題には、新聞を読んで、ある記事に注目し、考えを書けというものがある。

ある日、新聞を見ていると一つの記事に目が止まった。その記事の内容は、二〇一九年度の防衛費の要求が過去最高額だ、というものだ。その記事に、何気に見入ってしまった私は、パソコンを使い、インターネットを通じて更に情報を集めた。

すると、複数のサイトのコメントの欄に、要求の高額さを批判するもの・防衛費そのものを否定するものなど、多数ではないものの、書き込まれていた。お世辞にも、良いコメントと言えるものではなかった。

もちろん、防衛費の高額さを擁護するつもりは一つもない。

なぜなら、私も少ないお小遣いで消費税をはらい、それが防衛費などの一部にも使用されているからだ。

しかし、防衛費がないと、どうなるのか。

最近では、何事もなく、比較的平和な日々を過ごすことができているが、少し前に、韓国の少し上くらいに位置する国から、ミサイルが頻繁に発射されたために、私の学校でも、テレビ・ラジオをはじめとするメディアでも、ミサイル発射時の行動を何度も教えられた。

もし、ミサイルが日本国内に落ち、私達が被害にあったとき、誰が助けてくれるのか、ミサイルだけの話ではなく、外国から軍隊、テロリスト等の悪い奴らが攻めて来たとき、憲法上、軍隊を持っていない日本で守ってくれるのは、警察官・自衛官等の公務員と呼ばれる、私達が納める税金を給料とする職業の人達です。

彼らは、私達の生活・生命の安全を命を掛けながら守ってくれてるにもかかわらず、とある警察のドキュメント番組で、罪を犯してつかまった人は必ず

「もっと悪い奴がおるやろ。」

その罪がもっと大きい罪になるのを未然に防いでくれたにも関わらず、そのような事を言います。

ましてや、名古屋に行ったときに、とある駅前で、警察の予算について批判している人がいました。確かに、都会の警察署のパトカーは、新型なのが多かったり、装備が充実したりしているかも知れません。

しかし、私の住む町のパトカーは、少し型が古く、都会より装備に関しておとっているかもしれません。それでも、私達の生活・生命を守ってくれている警察官・自衛官をはじめとする公務員に感謝することが最大の貢献なのではないのでしょうか。

税の批判をする前に、彼らに感謝を、そして税を払わない人の批判をすべきだと私は思います。

小学生の税に関する習字

飯野
小六年
山崎
亜純

役税
割の

鈴鹿市立飯野小学校
6年 山崎 亜純

稲生
小六年
青木
胡桃

役税
割の

鈴鹿市立稲生小学校
6年 青木 胡桃

亀山
西小六年
山中
萌々華

役税
割の

亀山市立亀山西小学校
6年 山中 萌々華

鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

金賞

天名小
六年
山中
伊吹

役税
割の

鈴鹿市立天名小学校
6年 山中 伊吹

河曲小
五年
小岐須
麻衣

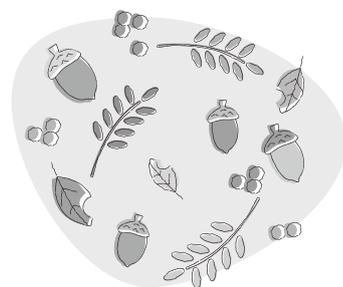
役税
割の

鈴鹿市立河曲小学校
5年 小岐須 麻衣

玉垣小
六年
佐々木
葵

役税
割の

鈴鹿市立玉垣小学校
6年 佐々木 葵



銀賞

国府小
五年
森田
菜々

役税
割の

鈴鹿市立国府小学校
5年 森田 菜々

鈴鹿市立井田川小学校
五年
西岡
希彩

役税
割の

鈴鹿市立井田川小学校
5年 西岡 希彩

川崎小
五年
古田
勇斗

役税
割の

亀山市立川崎小学校
5年 古田 勇斗

銅賞

石薬師小
六年
桑原
渚紗

役税
割の

鈴鹿市立石薬師小学校
6年 桑原 渚紗

牧田小
六年
宮崎
寧々

役税
割の

鈴鹿市立牧田小学校
6年 宮崎 寧々

白子小
五年
犬飼
壬友

役税
割の

鈴鹿市立白子小学校
5年 犬飼 壬友

桜島小
五年
具志
彩春

役税
割の

鈴鹿市立桜島小学校
5年 具志 彩春

井田川小
五年
小倉
美咲

役税
割の

亀山市立井田川小学校
5年 小倉 美咲

中学生の税の標語

税金で 未来に笑顔 広げよう

鈴鹿税務推進協議会長賞
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 上原 美咲

税金で 広がるみんなの 可能性

鈴鹿税務連絡協議会長賞
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 伊藤 ゆずな

生きる道 続く未来に 税金を

三重県間税会連合会長賞
鈴鹿市立白鳥中学校 1年 桑畑 なつ

税金は 国を動かす エネルギー

鈴鹿間税会長賞
鈴鹿市立天栄中学校 1年 飯田 思遠

金賞

税金で 築いていこう よい社会

鈴鹿享栄学園鈴鹿中等教育学校 1年 佐野 智咲

税金を しっかり納めて 幸せに

亀山市立亀山中学校 1年 鈴木 沙萌

税金は 社会をまわす 歯車だ

亀山市立亀山中学校 1年 竹尾 奏

税金は みんなを守る 大きな手

鈴鹿市立天栄中学校 1年 篠崎 亜衣

税金を 払って損は かんちがい

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 中野 実春

銅賞

8%（パー）で みんなの心を 100%（パー）に

亀山市立関中学校 1年 北川 月菜

税金は 日本の未来を 支えてる

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 吉澤 瑠奈

使い道 しっかりみんなで見とどけよう

亀山市立中部中学校 1年 別府 玲衣

税金は 未来をつくる かけ橋だ

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 坂井 遥香

税金は 未来を良くする バトンだよ

鈴鹿市立大木中学校 1年 萩原 雅

税金で 自分のすむ町 良くしよう

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 松崎 萌乃

小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿市立桜島小学校
6年 中西 琉菜

鈴鹿税務推進協議会長賞



亀山市立亀山西小学校
4年 生駒 葵

鈴鹿税務連絡協議会長賞



鈴鹿市立国府小学校
4年 北村 心楽

公益社団法人 鈴鹿法人会女性部会長賞



亀山市立亀山西小学校
6年 片岡 星

公益社団法人 鈴鹿法人会会長賞

中学生の 税についての作文入選者

(敬称略)

| | | | | |
|---------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 三重県教育委員会賞 | 亀山市立中部中学校 3年 田岡 桃奈 | 鈴鹿納税貯蓄組合連合会 | 金賞 | 亀山市立亀山中学校 2年 宮崎 心愛 |
| 三重県教育委員会賞 | 亀山市立亀山中学校 2年 堀 倫綺 | | | 亀山市立中部中学校 3年 鈴木 萌結 |
| 鈴鹿税務署長賞 | 亀山市立亀山中学校 2年 金木 洸瑠 | | | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 南出 陽祐 |
| 鈴鹿税務推進協議会長賞 | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 赤塚 央斉 | | 銀賞 | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 大道 百恵 |
| 鈴鹿税務連絡協議会長賞 | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 谷口 千歩 | | | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 加藤 隼統 |
| 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞 | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 佐原 弘彬 | | 銅賞 | 亀山市立中部中学校 3年 和泉 望亜 |
| | | 鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 木村 寧真 | | |
| | | 亀山市立亀山中学校 2年 出口暖乃佳 | | |
| | | | 亀山市立中部中学校 3年 北橋 響 | |
| | | | 亀山市立亀山中学校 2年 安土 冬偉 | |

小学生の 絵はがきコンクール



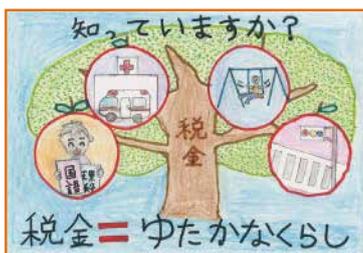
鈴鹿市立栄小学校
6年 坂倉 詩乃



亀山市立神辺小学校
4年 安田 愛理



鈴鹿市立稲生小学校
4年 山崎 萌加



亀山市立白川小学校
4年 広森 弥禄



鈴鹿市立神戸小学校
6年 後藤 心花



鈴鹿市立稲生小学校
6年 三浦 麻央



鈴鹿市立桜島小学校
6年 橋本 幸汰

金賞

銀賞



鈴鹿市立桜島小学校
6年 佐藤 ひなた



鈴鹿市立稲生小学校
6年 山本 美緒

6年 山口 莞生



銅賞

鈴鹿市立桜島小学校
6年 新開 美那

